

第35期 中間事業報告書

クレスコレポート

2022年4月1日 > 9月30日

会社ロゴが変わりました

2022年4月から「第2創業期」へ…

CRESCO

デザインコンセプト

Challenger wildcard

モチーフ

一般的にワイルドカード記号として用いられる「*」

カラー

- アドバンス・オレンジ…… 力強い前進
- トラスト・ブラック…… 確かな信頼

あらゆる対象にマッチするワイルドカードのように
枠にとらわれない考え方や開発に挑戦し
社会を前進・成長させる姿勢を持ち続けます

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素よりご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。
第35期中間期(2022年4月1日～2022年9月30日)の業績と取り組みを、ご報告いたします。

当期の経営方針と課題

クレスコグループは、10ヶ年の経営ビジョン『**CRESCO Group Ambition 2030**』と3つの中期経営計画(2021～2023年度、2024～2026年度、2027～2030年度)に沿って、「**最高のテクノロジーと絆で“わくわくする未来”を創造**」する企業グループを目指しています。

当期は、経営ビジョンの具現化に向けた第1ステップとなる『**中期経営計画2023(2021～2023年度)**』の折り返し年度として、コアビジネス(ITサービス)推進のための「基本戦略」と、新たなビジネス(デジタルソリューション)の柱を生み出すための「重点戦略」の実行を通じて、業績目標の達成はもとより、機動的な経営基盤の確立と人間中心経営の実践に励み、企業価値を一層高めるべく、事業を展開しました。

当期の課題

- ・ お客様とのリレーションシップの強化および新規顧客の獲得
- ・ デジタルソリューションビジネスの拡大と新技術の研究・開発
- ・ 人材の獲得と開発体制の強化
- ・ M&Aの推進とブランディング強化
- ・ DX推進と機動的経営の実現
- ・ 安心・感動を生み出す品質強化
- ・ ESG経営の推進とサステナビリティに関する取り組み
- ・ 健康経営の推進
- ・ 働き方改革と健全な労働環境づくり
- ・ ダイバーシティへの取り組み

当中間期の経営環境と経営成績

新型コロナウイルス禍からの正常化が進む一方で、ロシア・ウクライナ紛争に端を発する海外経済への下押しリスクや急速な円安の進行が懸念される経営環境でした。クレスコグループのお客様は、一部でIT投資を厳選／延期／規模の縮小等の動きが認められましたが、IT

投資の需要そのものは旺盛で、受注は順調に推移しました。

しかしながら、資金運用において、米国でのインフレ抑制策としての政策金利の引き上げとリセッション入りの懸念により、米国の株式市場で株安が進行し、当社が保有する金融商品に関してデリバティブ評価損(営業外費用)を計上するに至り、当中間期の業績は増収減益となりました。

当期の見通し

当期の事業環境は、新型コロナウイルスの新たな変異株の発生や円安の進行、先の見えないロシア・ウクライナ紛争など、景気の下振れリスクが拭い切れず、見通しは楽観的にはなれない状況です。しかしながら、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた経済活動は、活発な状況が継続しており、デジタル変革(DX)の流れに歯止めがかかる可能性は低く、「既存システムの刷新やデジタル変革による生産性向上を目的としたIT投資の需要は、順調に推移する」と判断しています。

新体制への移行から半年が過ぎ、「変化」の手応えを感じております。今後も株主のみなさまのご支援をいただきながら、引き続き中期経営計画に取り組むとともに、お客様の「デジタル変革」をリードする新規性と利便性を備えたITサービスやデジタルソリューションの提供を通じて、更なる成長と企業価値向上を図ってまいります。

今後ともクレスコグループへのご理解とともに、長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会や企業デジタル化、デジタル変革(DX)の本格的な到来により、情報サービス産業全体の構造改革、イノベーションが求められています。

クレスコグループは、激変する経営環境の中、

持続的な成長と企業価値向上を目指し、

2021年4月から10年間の長期ビジョン

『CRESCO Group Ambition 2030』をスタートしました。

また、当該ビジョンの具現化に向け、

最初のステップとして『中期経営計画2023』を設定しました。

2030年度に向けた10ヶ年の経営ビジョン

CRESCO Group Ambition 2030

人が思い描く未来、その先へ

クレスコグループは最高のテクノロジーと絆で“わくわくする未来”を創造します



グループビジョンの詳細

<https://www.cresco.co.jp/corpinfo/vision/>



「中期経営計画2023」の経営目標

連結 売上高

500億円

連結 営業利益

50億円

ROE

15%以上

中期経営計画の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ir/plan.html>



➤ 「第2創業期」がスタート

2022年4月1日付けで、経営体制の一層の強化を図るため、「代表取締役会長」と「代表取締役 社長執行役員」の2代表制に移行し、「第2創業期」のスタートにあわせて、創業以来初となるコーポレートロゴの変更を実施しました。

また、以下のような抜本的な組織改革を行いました。

- 適切な権限委譲による経営上の意思決定と施策実行の迅速化を目的に、執行役員を本部長に据える。
- 『CRESCO Group Ambition 2030』実現のために、「経営戦略本部」を設置。
- グループシナジーの更なる発揮のために「グループ統括本部」を設置し、グループ間での営業案件の共有を推進。
- 機動的経営の強化とグループガバナンス向上のため、「グループ役員会議」の頻度を増やし、グループ役員間の連携を強化。

➤ RPAビジネスの強化

- 2022年4月に、UiPath株式会社様から認定リセラー「ゴールドパートナー」に認定されました。「ゴールドパートナー」は、リセラーの中でも高い技術力とサポート力を有し、UiPath製品の導入支援と販売実績が豊富であるパートナーの証です。
- 2022年5月30日から、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）に関する知識を無料で学べるeラーニングサービスの提供を、UiPath製品のライセンスを購入した企業向けに開始しました。
- 2022年8月から、サイバー攻撃の兆候を検知・分析した結果をもとに、当社のセキュリティ分野の専門家が対策を支援するサービス「マネージドセキュリティサービス for SIEM」の販売を開始しました。

➤ 「ソーシャルトイレシステム」の開発・販売

子会社「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」は、他事業会社との協業により、公共トイレの利用状況をリアルタイムで分析できる「ソーシャルトイレシステム」を開発し、2022年5月20日から販売を開始しました。既に、小樽市にある、北海道が所有する公衆トイレに導入されています。

公共トイレ内の便器や手洗器に設置した水流センサーから、利用回数や水量のデータを取得し、3つの視点「利用状況の見える化」「故障・異常の検知」「衛生状態の見える化」で分析して活用することで、清掃やトイレトイレットペーパー補給を適切なタイミングで行えるようになり、コストの削減に繋がります。また、公共トイレの利用人数を計測することは人流把握に繋がりと、感染状況に応じた人流の調整という施策のための判断材料となり得ます。ウィズコロナ・アフターコロナの地域活性化を図る全国の観光スポットで、導入を目指しています。

➤ 子会社3社を統合

2022年7月1日付けで子会社「エヌシステム」「ネクサス」を「アルス」に統合し、「クレスコ・ジェイキューブ」として再編しました。

今後想定される経営環境の変化や競争関係の激化に対応するために、3社のノウハウと人材・経営資源の統合を図るとともに、人材・経営資源を有効活用して、大規模プロジェクトへの対応・新サービスを提供することで、ビジネス拡大を推進し、業界におけるクレスコグループの競争優位性の維持・向上を図ることを目的としています。

CRESCO 
J CUBE

連結業績ハイライト

決算のポイント

- 前年同期比、売上高10.7%増、営業利益11.3%増、経常利益4.8%減、純利益8.6%減の増収減益。

■ ITサービス事業

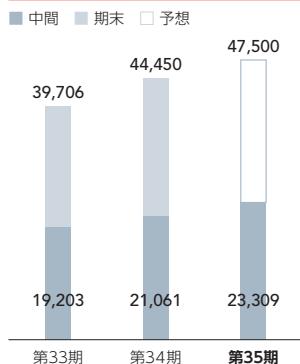
「エンタープライズ」は、「流通サービス」「建設・不動産」分野で新規案件を獲得、「人材紹介・人材派遣」「運輸」等の分野で大型案件の収束や一部不採算案件の発生に伴う営業機会のロスが発生。「金融」は、「銀行」「保険」分野で基盤構築・移行案件が増加、

証券・カード等「その他」分野で案件が増加。「製造」は、「機械・エレクトロニクス」「自動車・輸送機器」分野で新規顧客からの受注や先行投資案件が増加。

■ デジタルソリューション事業

主クラウドサービスの「Creage」とRPAライセンスの販売が増加。

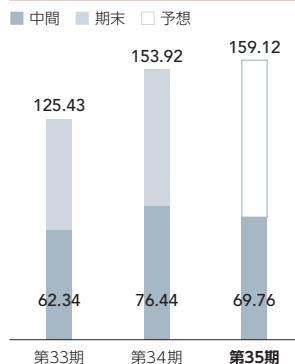
売上高 233億9百万円



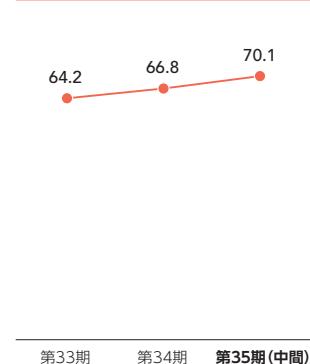
営業利益・営業利益率 22億45百万円



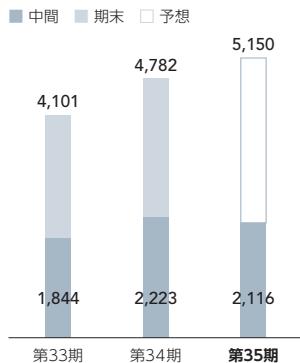
1株当たり純利益 69.76円



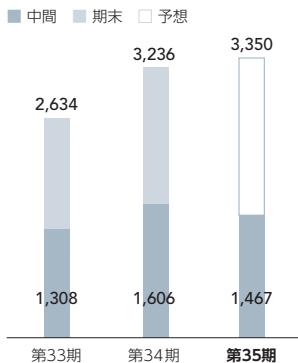
自己資本比率 70.1%



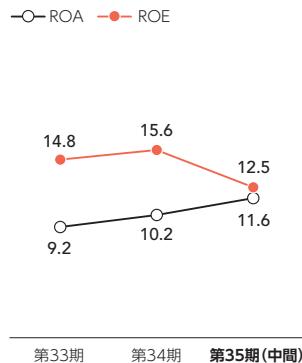
経常利益 21億16百万円



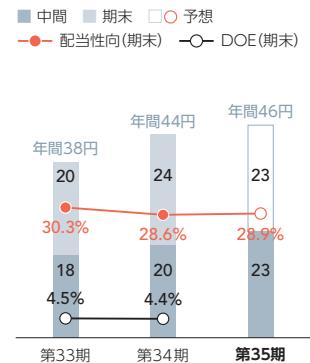
純利益 (親会社株主に帰属) 14億67百万円



ROA 11.6% ROE 12.5%



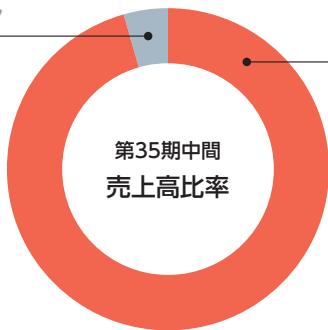
1株配当金 中間 23円



連結セグメント別概況

デジタル
ソリューション

4.4%



ITサービス

95.6%

エンタープライズ

38.2%

金融

30.8%

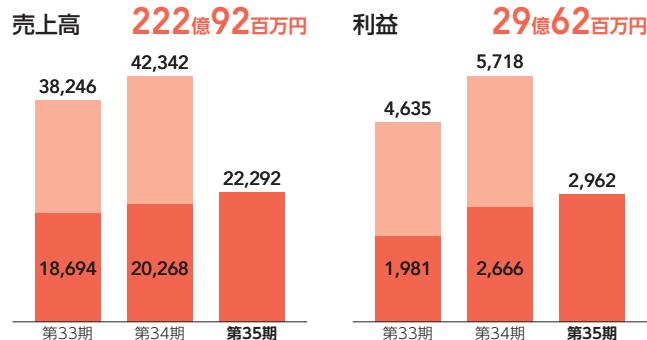
製造

26.7%

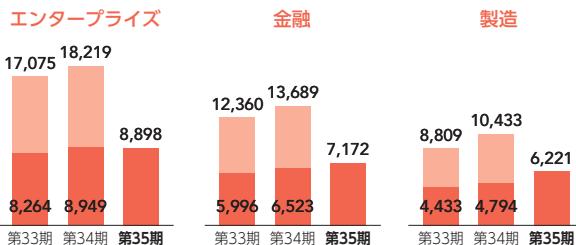
セグメント	事業	サブセグメント
ITサービス	<ul style="list-style-type: none"> コンサルティング IT企画 開発・保守の総合サービス 	エンタープライズ (情報・通信、広告、流通サービス、 運輸、人材紹介・人材派遣、公共、 資源・エネルギー、建設・不動産、 旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他)
		金融 (銀行、保険、その他)
		製造 (自動車、輸送機器、機械、 エレクトロニクス、その他)
デジタル ソリューション	顧客のDX実現を 支援する製品・ サービスからなる ソリューション群	「Creage」、 「インテリジェントフォルダ」、 RPA 等

ITサービス

■ 中間 ■ 期末



サブセグメント別売上高



デジタルソリューション

■ 中間 ■ 期末



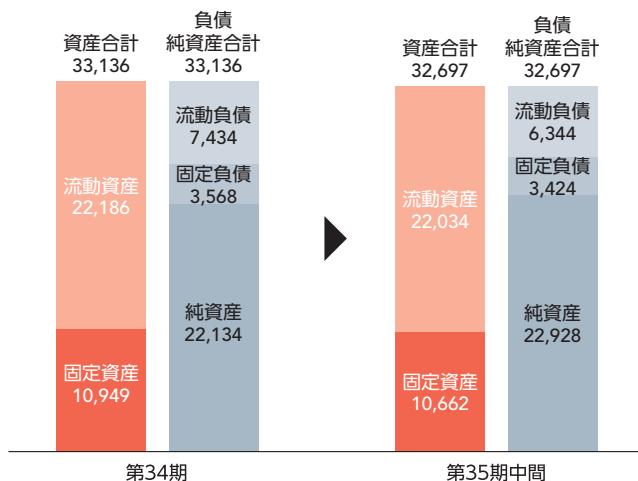
配当方針

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としております。配当に関しましては、原則、連結の経常利益をもとに特別損益を零(ゼロ)とした場合に算出される親会社に帰属する当期純利益の30%相当を目標に、継続的に実現することを目指してまいります。

連結財務概況

貸借対照表の概要

(単位:百万円)



流動資産 前年度末比 1億52百万円 ↓

電子記録債権が5億3百万円、前払費用が1億50百万円、仕掛品が1億6百万円、有価証券が93百万円それぞれ増加したものの、受取手形、売掛金および契約資産が7億9百万円、現金および預金が3億5百万円それぞれ減少したことにより、前連結会計年度末に比べて1億52百万円減少し、220億34百万円となりました。

固定資産 前年度末比 2億87百万円 ↓

有形固定資産が1億62百万円、繰延税金資産が1億59百万円それぞれ増加したものの、投資有価証券が5億35百万円、のれんが1億5百万円それぞれ減少したことにより、前連結会計年度末に比べて2億87百万円減少し、106億62百万円となりました。

流動負債 前年度末比 10億89百万円 ↓

未払法人税等が2億99百万円、未払金が2億6百万円、未払消費税等が1億61百万円、賞与引当金が1億43百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億41百万円、役員賞与引当金が96百万円それぞれ減少したことにより、前連結会計年度末に比べて10億89百万円減少し、63億44百万円となりました。

固定負債 前年度末比 1億44百万円 ↓

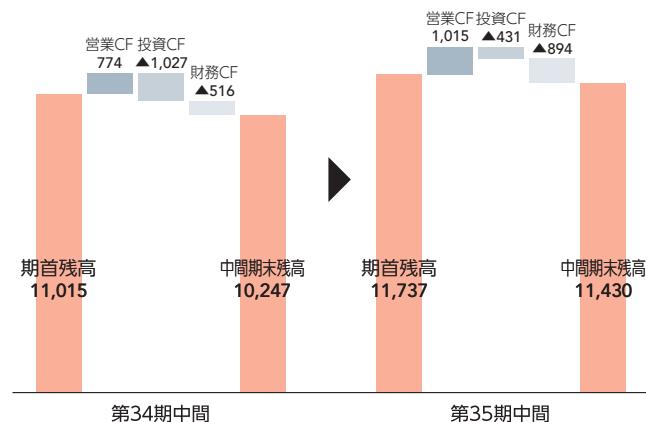
退職給付に係る負債が1億2百万円増加したものの、長期借入金が2億45百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べて1億44百万円減少し、34億24百万円となりました。

純資産合計 前年度末比 7億94百万円 ↑

その他有価証券評価差額金が2億4百万円減少したものの、利益剰余金が9億62百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて7億94百万円増加し、229億28百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額が9億22百万円、未払金の減少額が2億5百万円、未払消費税等の減少額が1億55百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が20億33百万円あったことにより、10億15百万円の収入(前年同期7億74百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の償還による収入が10億円あったものの、投資有価証券の取得による支出が11億74百万円、有形固定資産の取得による支出が1億47百万円あったことにより、4億31百万円の支出(前年同期10億27百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額が5億4百万円、長期借入金の返済による支出が3億87百万円あったことにより、8億94百万円の支出(前年同期5億16百万円の支出)となりました。



ホームページのご案内

最新のIR情報や
財務データ、決算関連資料を
掲載しております。
ぜひ、ご利用ください。



<https://www.cresco.co.jp/>

役員紹介

取締役



代表取締役会長
根元 浩幸 Hiroyuki Nemoto
1960年2月12日生



代表取締役 社長執行役員
富永 宏 Hiroshi Tominaga
1967年1月9日生



取締役 専務執行役員
管理部門管掌
杉山 和男 Kazuo Sugiyama
1964年9月1日生



取締役 専務執行役員
事業部門管掌
粉川 徳幸 Noriyuki Kogawa
1963年11月24日生

取締役 監査等委員



取締役 常勤監査等委員
高石 哲 Satoshi Takaiishi
1962年5月26日生

報酬委員会

委員長 **福井 順一**

委員 **佐藤 幸恵 根元 浩幸 佐藤 治夫 前川 昌之**

執行役員

常務執行役員
エンタープライズビジネス本部長
平野 健一 Kenichi Hirano
1972年3月13日生

常務執行役員
インダストリアルビジネス本部長
寺村 孝幸 Takayuki Teramura
1970年12月10日生

常務執行役員
ソリューション&サービスインノベーション本部長
兼 営業統括部管掌
岩見 聡 Satoshi Iwami
1964年7月6日生

執行役員
金融ビジネス本部長
久保 和隆 Kazutaka Kubo
1964年5月18日生

執行役員
経営戦略統括本部長
元木 隆博 Takahiro Motoki
1969年5月22日生

執行役員
ビジネスイノベーションサービス本部長
兼 技術研究所管掌
高津 聡 Satoshi Takatsu
1975年8月19日生

社外取締役



社外取締役
福井 順一 Junichi Fukui
1953年11月5日生

企業経営に関する幅広い知識と見識を有するほか、経営企画、広報等に関する豊富な経験と実績を有しています。



社外取締役
佐藤 幸恵 Yukie Sato
1965年6月30日生

エグゼクティブコンサルティングの豊富な経験と実績を有するとともに、企業経営者として、経営全般に関する幅広い知識と見識を有しています。

社外取締役 監査等委員



社外取締役 監査等委員
佐藤 治夫 Haruo Sato
1956年11月27日生

企業経営に関する幅広い知識と見識を有するほか、情報システムコンサルティングならびに情報システムの企画、設計および開発等に関する豊富な経験と知見を有しています。



社外取締役 監査等委員
前川 昌之 Masayuki Maekawa
1965年3月30日生

公認会計士として財務、M&A、会計および税務に精通し、企業経営を統治する十分な見識を有しています。

(2022年10月1日現在)



A CRESCO COMPANY 

株式会社アイオス
<https://www.ios-net.co.jp/>
 子会社化：2010年4月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

株式会社エニシアス
<https://www.enisiias.com/>
 子会社化：2020年4月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

クレスコ ワイヤレス株式会社
<https://wireless-t.jp/>
 子会社化：2005年10月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

株式会社シースリー
<http://www.c3w.co.jp/>
 子会社化：2012年12月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

株式会社OEC
<https://www.oec-ltd.co.jp/>
 子会社化：2021年7月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

クレスコイー・ソリューション株式会社
<https://www.cresco-es.co.jp/>
 子会社化：1999年8月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

株式会社メクゼス
<http://www.mexess.co.jp/>
 子会社化：2015年10月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

株式会社ジザイめっけ
<https://zxy-meqqe.co.jp/>
 持分法適用会社化：2020年4月
 議決権所有割合：34.0%



A CRESCO COMPANY 

株式会社クレスコ・ジェイキューブ
<https://www.cresco-jcube.co.jp>
 子会社化：2016年9月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

株式会社クレスコ・デジタルテクノロジーズ
<https://www.cresco-dt.co.jp/>
 子会社化：2013年4月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

ビュルガーコンサルティング株式会社
<https://buerger-consulting.com/>
 持分法適用会社化：2012年4月
 議決権所有割合：33.4%



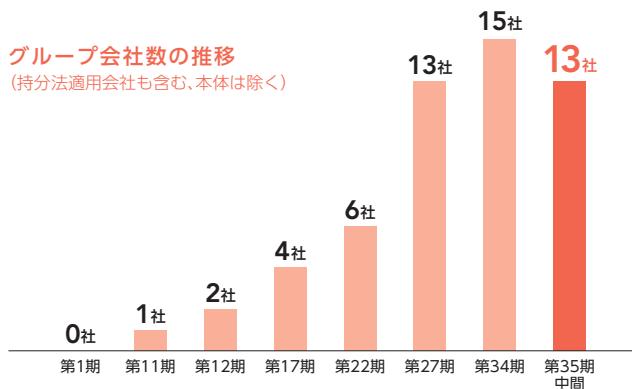
A CRESCO COMPANY 

CRESCO VIETNAM CO., LTD.
 (クレスコ ベトナム)
<https://cresco-vn.com.vn/>
 子会社化：2019年9月
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

クレスコ北陸株式会社
<http://www.cresco-hokuriku.jp/>
 子会社化：2012年4月
 議決権所有割合：100.0%



連結子会社…… 11社

持分法適用会社… 2社

(2022年9月30日現在)

株式情報

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	68,000,000株
発行済株式の総数	21,052,700株 (自己株式1,947,300株を除く)
株主数	3,520名

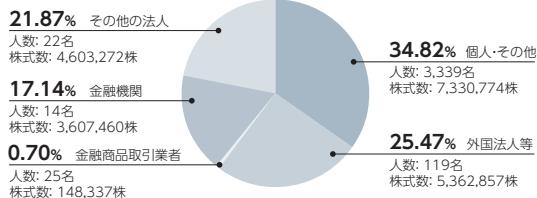
大株主

(2022年9月30日現在)

株主名	持株数(百株)	議決権比率(%)
有限会社イワサキコーポレーション	44,792	21.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,382	9.21
浦崎 雅博	12,554	5.97
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND	9,213	4.38
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	9,000	4.28
クレスコ従業員持株会	8,621	4.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,350	3.49
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	6,474	3.07
岩崎 俊雄	6,120	2.91
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	5,650	2.68

所有者別株式分布状況(自社保有分を除く)

(2022年9月30日現在)



株主メモ

(2022年9月30日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	中間:9月30日 期末:3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [TEL] ☎ 0120-232-711 (通話料無料) [送付先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要

(2022年9月30日現在)

商号	株式会社クレスコ
設立	1988年4月
資本金	25億1,487万5,803円
従業員数	連結: 2,612名(男性:1,981名 女性:631名 女性比率:24.2%) 単体: 1,362名(男性:1,020名 女性:342名 女性比率:25.1%)

所在地 ■ 本社
〒108-6026 東京都港区港南2-15-1
品川インターシティA棟 25階～27階
TEL: 03-5769-8011 FAX: 03-5769-8019

■ 札幌事業所
〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西3-1
札幌北三条ビル 2階、3階
TEL: 011-200-5550 FAX: 011-200-5665

■ 長岡事業所
〒940-0071 新潟県長岡市表町1-11-1
長岡フロントビル 4階
TEL: 0258-30-0370 FAX: 0258-33-1771

■ 名古屋事業所
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-38-2
オーキッドビル 3階
TEL: 052-589-9045 FAX: 052-589-9025

■ 大阪事業所
〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4-2-12
野村不動産御堂筋本町ビル 2階
TEL: 080-7739-8918

■ 福岡事業所
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-7-22
第14岡部ビル 7階
TEL: 092-415-3540 FAX: 092-415-3541

事業内容 情報処理システムに関する
■ コンサルティングおよびソリューションサービス業務
■ 設計、開発業務
■ 運用管理、保守業務
■ 調査、分析、評価および技術支援業務

社名の由来

企業活動の成長が世界の人々の幸福に可能な限り最大の貢献をすること、そして、そこに働く人々が共に喜びと誇りをもち、自己の能力を最高に発揮できることが企業の使命であると考え、ラテン語で「成長する」という意味を持つ「CRESCO」を社名としております。

IRのお問合せ 広報部

Mail: ir@cresco.co.jp
TEL: 03-5769-8058

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

CRESCO 

東京証券取引所 プライム市場
証券コード 4674